

新市街地の可能性検討について

1. 背景

- 市内における民間の宅地開発・販売が好調に推移しており、住宅地に対する需要が多い一方、供給出来る住宅用地が少なくなっている。
- 様々な業種からの工業団地への引合いが多い状況となっているが、市の工業団地は完売済みとなっている。
- 千歳市への次世代半導体製造企業ラピダスの進出に加え、北海道においてもデジタル関連産業の集積を加速させることとしており、工業系用地等の新たな需要が見込まれる。

2. 検討の概要

- 経済部（商工労働課）が実施中の企業立地動向調査と並行して新市街地の適地について、その可能性の検討を進めるもの。
- 工業系用地の需要に加え、住宅系・商業系の用地についての需要も想定されることから、工業系以外の用途も含めた検討を行う。
- 既存市街地周辺を中心に、令和5年度は現在の用途などに基づく適地の検討・調査地選定等を実施。令和6年度以降、企業立地動向調査の結果なども踏まえた具体的な検討を行う。

3. スケジュール（案）

令和5年度	適地の検討および調査地の選定 地権者・事業者等の意向調査
令和6年度以降	土地利用・事業手法の調査・検討 都市計画マスタープランの見直し検討 等